

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
設定日	2016年9月26日
信託期間	無期限
運用方針	円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。Aコースでは原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。Bコースでは原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動による影響を受けません。
主要運用対象	大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用） ・コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス受益証券を主要投資対象とします。なお、マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース（ダイワ投資一任専用） ・コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス受益証券を主要投資対象とします。なお、マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス ・米国の株式等を主要投資対象とします。 マネー・マネジメント・マザーファンド ・本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	・投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎年6月15日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。

運用報告書（全体版）

第5期

決算日 2021年6月15日

大和住銀／コロンビア米国株 リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）／ Bコース（ダイワ投資一任専用）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）」は、去る2021年6月15日に第5期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

< Aコース（ダイワ投資一任専用） >

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (配当込み)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込配分金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
(設定日) 2016年9月26日	円 10,000	円 —	% —	ポイント 4,112.69	% —	% —	% —	百万円 1
第1期 (2017年6月15日)	11,352	0	13.5	4,703.53	14.4	0.0	96.2	203
第2期 (2018年6月15日)	12,266	0	8.1	5,474.37	16.4	0.0	98.2	512
第3期 (2019年6月17日)	12,427	0	1.3	5,795.96	5.9	0.0	97.9	532
第4期 (2020年6月15日)	13,035	0	4.9	6,227.42	7.4	0.0	97.9	786
第5期 (2021年6月15日)	18,196	0	39.6	8,851.17	42.1	0.0	98.3	1,599

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P 500種株価指数 (配当込み)		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2020年6月15日	円 13,035	% —	ポイント 6,227.42	% —	% 0.0	% 97.9
6月末	13,073	0.3	6,254.78	0.4	0.0	97.9
7月末	13,852	6.3	6,658.02	6.9	0.0	98.0
8月末	14,898	14.3	7,207.10	15.7	0.0	98.0
9月末	14,149	8.5	6,861.96	10.2	0.0	95.6
10月末	13,989	7.3	6,816.79	9.5	0.0	97.6
11月末	15,570	19.4	7,505.38	20.5	0.0	98.4
12月末	15,941	22.3	7,697.93	23.6	0.0	96.7
2021年1月末	16,095	23.5	7,831.22	25.8	0.0	97.0
2月末	16,464	26.3	7,929.56	27.3	0.0	98.2
3月末	16,986	30.3	8,208.10	31.8	0.0	97.9
4月末	17,986	38.0	8,740.35	40.4	0.0	97.0
5月末	17,988	38.0	8,738.77	40.3	0.0	98.3
(期末) 2021年6月15日	18,196	39.6	8,851.17	42.1	0.0	98.3

*騰落率は期首比です。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

<Bコース（ダイワ投資一任専用）>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
(設定日) 2016年9月26日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	% —	百万円 1
第1期(2017年6月15日)	12,472	0	24.7	12,455	24.5	0.0	98.1	123
第2期(2018年6月15日)	13,805	0	10.7	14,623	17.4	0.0	98.0	345
第3期(2019年6月17日)	14,091	0	2.1	15,199	3.9	0.0	98.0	416
第4期(2020年6月15日)	14,824	0	5.2	16,117	6.0	0.0	97.9	669
第5期(2021年6月15日)	21,330	0	43.9	23,521	45.9	0.0	98.5	1,221

S & P 500種株価指数（配当込み、円換算）とは、S & P 500種株価指数（配当込み、米ドルベース）を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P 500種株価指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2020年6月15日	円 14,824	% —	16,117	% —	% 0.0	% 97.9
6月末	14,933	0.7	16,264	0.9	0.0	97.9
7月末	15,454	4.2	16,808	4.3	0.0	98.1
8月末	16,665	12.4	18,326	13.7	0.0	98.2
9月末	15,888	7.2	17,521	8.7	0.0	97.7
10月末	15,561	5.0	17,208	6.8	0.0	98.2
11月末	17,209	16.1	18,818	16.8	0.0	98.5
12月末	17,574	18.6	19,228	19.3	0.0	96.6
2021年1月末	17,874	20.6	19,747	22.5	0.0	98.3
2月末	18,710	26.2	20,333	26.2	0.0	78.6
3月末	19,932	34.5	21,931	36.1	0.0	98.5
4月末	20,878	40.8	22,978	42.6	0.0	98.6
5月末	21,077	42.2	23,149	43.6	0.0	98.5
(期末) 2021年6月15日	21,330	43.9	23,521	45.9	0.0	98.5

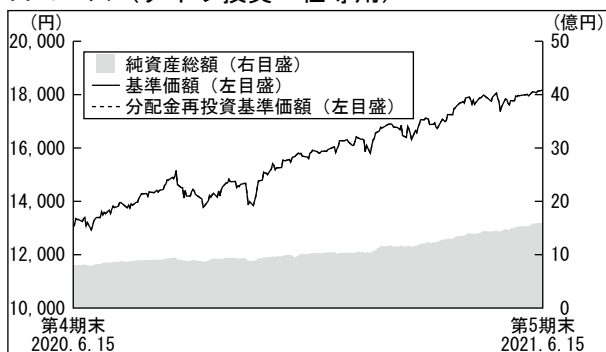
*騰落率は期首比です。

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

運用経過

【基準価額等の推移】

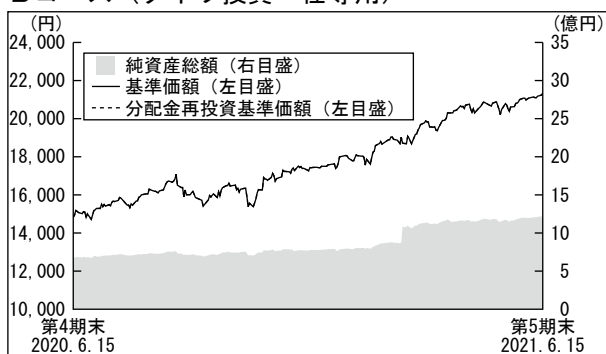
Aコース（ダイワ投資一任専用）



第5期首：13,035円
 第5期末：18,196円（既払分配金 0円）
 騰落率：+39.6%（分配金再投資ベース）

*当ファンドにはベンチマークはありません。
 *分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。
 *分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

Bコース（ダイワ投資一任専用）



第5期首：14,824円
 第5期末：21,330円（既払分配金 0円）
 騰落率：+43.9%（分配金再投資ベース）

*当ファンドにはベンチマークはありません。
 *分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。
 *分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の主な変動要因】

Aコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラスへの投資を通じて、米国株式へ投資しました。

（上昇要因）

個別銘柄では、新型コロナウイルス感染症流行の中、半導体／ハードウェア株が好調で、長期の右肩上がりのトレンドにあるとみなされたIT（情報技術）セクターのApple Inc.は、恩恵を受けるとされプラスに寄与しました。また、企業の業務がクラウドへ移行したことや、“在宅勤務”へのシフトから「オフィス365」の需要が高まったことなどから著しい恩恵を受けた、Microsoft Corporationもプラスとなりました。さらに、感染症流行の結果、オンライン販売、生活必需品と医薬品の宅配への移行が急速に進んだことに加えて、クラウドの「AWS（アマゾンウェブサービス）」への需要が高まったことなどを背景に、Amazon.com, Inc.は著しく恩恵を受けました。

（下落要因）

個別銘柄では、13億米ドルの公的救済に絡み、贈収賄に関与したことが疑われたFirstEnergy Corp.はマイナスに作用しました。また、微細化半導体の開発遅延や、TSMC（台湾セミコンダクター）への製造の委託などを背景に下落した局面で売却したIntel Corporationも要因となりました。さらに、Vertex Pharmaceuticals Incorporatedも下落しました。

Bコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラスへの投資を通じて、米国株式へ投資しました。

（上昇要因）

個別銘柄では、新型コロナウイルス感染症流行の中、半導体／ハードウェア株が好調で、長期の右肩上がりのトレンドにあるとみなされたIT（情報技術）セクターのApple Inc.は、恩恵を受けるとされプラスに寄与しました。また、企業の業務がクラウドへ移行したことや、“在宅勤務”へのシフトから「オフィス365」の需要が高まったことなどから著しい恩恵を受けた、Microsoft Corporationもプラスとなりました。さらに、感染症流行の結果、オンライン販売、生活必需品と医薬品の宅配への移行が急速に進んだことに加えて、クラウドの「AWS（アマゾンウェブサービス）」への需要が高まったことなどを背景に、Amazon.com, Inc.は著しく恩恵を受けました。

為替市場では、円安・米ドル高となったことも上昇要因となりました。

（下落要因）

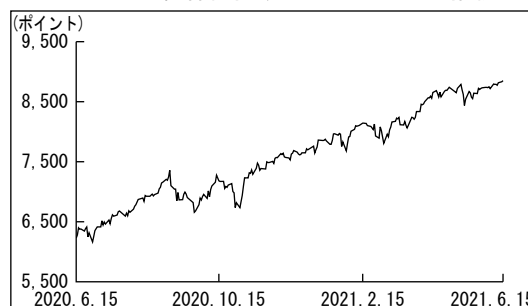
個別銘柄では、13億米ドルの公的救済に絡み、贈収賄に関与したことが疑われたFirstEnergy Corp.はマイナスに作用しました。また、微細化半導体の開発遅延や、TSMC（台湾セミコンダクター）への製造の委託などを背景に下落した局面で売却したIntel Corporationも要因となりました。さらに、Vertex Pharmaceuticals Incorporatedも下落しました。

【投資環境】

米国株は、当期初において、2020年3月の大暴落から半値戻しを達成しました。成長株と超大型株が牽引しました。2020年10-12月期、2021年1-3月期には、新型コロナウイルスのワクチンの緊急使用許可を背景に、一転してバリュー株（割安株）が牽引しました。2021年年初から期末にかけて、市場心理はワクチン接種の開始、米国経済の段階的な再開などに後押しされました。2020年10-12月から始まったリフレ取引（デフレ状態を脱却しインフレにはならない程度の状態を期待した投資行動）、バリュー株志向は、2021年1-3月期にさらに強まり、同四半期にはシクリカル（景気循環）／バリュー株はグロース株（成長株）をアウトパフォームしました。米国の主要株価指数は、安定的とは言えないものの、4月も上昇が継続し、5月もほとんどで上昇しました。インフレ懸念が高まり、上昇ペースは弱まりましたが、6月中旬まで同様の傾向が続きました。

国内短期金融市場では、期首-0.12%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、年間を通じて-0.06%~-0.18%の狭いレンジ内での動きに終始し、-0.10%近辺で期末を迎えました。

S & P 500種株価指数（配当込み）の推移



【ポートフォリオ】

■ Aコース（ダイワ投資一任専用）

主要投資対象であるコロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラスを期を通じて高位に組み入れ、期末の投資信託証券組入比率は98.3%としました。

■ コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス

当期における個別銘柄の購入事例は以下の通りです。

最大手の一社であり、競争力のない同業他社から市場シェアを奪えるだけの規模、財務の安定性を有していると見たSysco Corporationを購入しました。同社の新CEO（最高経営責任者）は成長加速に向けた力強い販売戦略を展開しています。また、デュボンの部門買収を経て、シナジー（相乗効果）が現れつつある、International Flavors & Fragrances Inc.を購入しました。同社の幅広い製品群はユーザーへの訴求力を高めるのに有用と見ています。さらに、業界において最も堅実な成長性を見込めるEli Lilly and Companyを購入しました。当ファンドでは、同社の糖尿、肥満向けの治療薬「Tirzepatide（チルゼパチド）」を好感しています。

一方、主な売却事例としては、新型コロナウイルスのワクチン開発に出遅れたMerck & Co., Inc.を2020年秋に売却しました。また、ワクチン開発の報道で株価が上昇した機を捉えて、Pfizer Inc.を売却しました。同社は特許切れの薬品が多く、パイプライン（開発中の新薬群）もさえないことから、他の銘柄に乗り換えました。さらに、当ファンドの目標株価に到達したことから、Quest Diagnostics株を売却しました。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

■ Bコース（ダイワ投資一任専用）

主要投資対象であるコロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラスを期を通じて高位に組み入れ、期末の投資信託証券組入比率は98.5%としました。

■ コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス

当期における個別銘柄の購入事例は以下の通りです。

最大手の一社であり、競争力のない同業他社から市場シェアを奪えるだけの規模、財務の安定性を有していると見たSysco Corporationを購入しました。同社の新CEO（最高経営責任者）は成長加速に向けた力強い販売戦略を展開しています。また、デュボンの部門買収を経て、シナジー（相乗効果）が現れつつある、International Flavors & Fragrances Inc.を購入しました。同社の幅広い製品群はユーザーへの訴求力を高めるのに有用と見ています。さらに、業界において最も堅実な成長性を見込めるEli Lilly and Companyを購入しました。当ファンドでは、同社の糖尿、肥満向けの治療薬「Tirzepatide（チルゼパチド）」を好感しています。

一方、主な売却事例としては、新型コロナウイルスのワクチン開発に出遅れたMerck & Co., Inc.を2020年秋に売却しました。また、ワクチン開発の報道で株価が上昇した機を捉えて、Pfizer Inc.を売却しました。同社は特許切れの薬品が多く、パイプライン（開発中の新薬群）もさえないことから、他の銘柄に乗り換えました。さらに、当ファンドの目標株価に到達したことから、Quest Diagnostics株を売却しました。

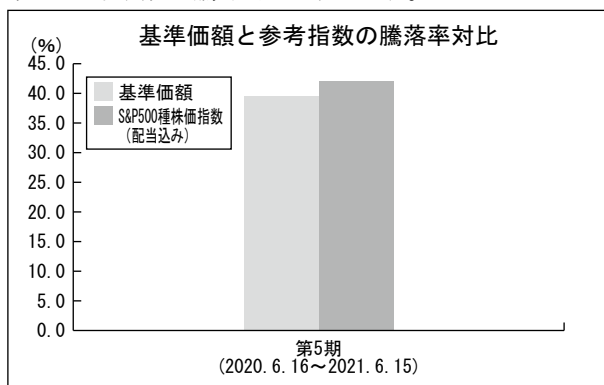
■ マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

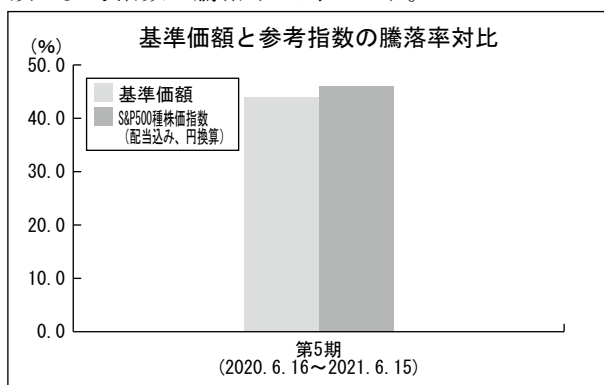
■ Aコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



■ Bコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

Aコース（ダイワ投資一任専用）

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■ 分配原資の内訳

(1万円当たり・税引前)

項目	第5期	
	2020年6月16日 ～2021年6月15日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		8,196

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

Bコース（ダイワ投資一任専用）

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■ 分配原資の内訳

(1万円当たり・税引前)

項目	第5期	
	2020年6月16日 ～2021年6月15日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		11,329

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■Aコース（ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

■コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス

ワクチン接種の加速、経済再開の動き、サプライチェーン（調達・供給網）の改善、日常生活への回帰などが市場の注目点です。経済の面では、①インフレ、それが一時的か持続的か、②雇用情勢が経済回復の妨げとなるかが大きな論点と見えています。当ファンドは市場全般に前向きである一方、依然として景気回復は新型コロナウイルス感染症を完全に制圧できるかどうかにかかっていると見えています。

当ファンドでは、ポートフォリオの長期的価値を創造する可能性のある投資候補を選択する上での出発点として、市場に広がる悲観論に着目しており、それらの悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象として、逆張りの投資プロセスを忠実に守っています。非常にボラティリティ（価格変動性）が高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを進める方針です。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

■Bコース（ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

■コロンビア・USコントラリアン・ファンド アンヘッジド・クラス

ワクチン接種の加速、経済再開の動き、サプライチェーン（調達・供給網）の改善、日常生活への回帰などが市場の注目点です。経済の面では、①インフレ、それが一時的か持続的か、②雇用情勢が経済回復の妨げとなるかが大きな論点と見えています。当ファンドは市場全般に前向きである一方、依然として景気回復は新型コロナウイルス感染症を完全に制圧できるかどうかにかかっていると見えています。

当ファンドでは、ポートフォリオの長期的価値を創造する可能性のある投資候補を選択する上での出発点として、市場に広がる悲観論に着目しており、それらの悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象として、逆張りの投資プロセスを忠実に守っています。非常にボラティリティ（価格変動性）が高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを進める方針です。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

日本銀行は2021年3月の金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行いました。現時点で日本銀行によるマイナス金利の深掘りの可能性は低いものの、現行の強力な金融緩和政策を継続することから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

＜Aコース（ダイワ投資一任専用）＞

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年6月16日～2021年6月15日		
	金額	比率	
信託報酬	81円	0.523%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,583円です。
(投信会社)	(60)	(0.385)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(17)	(0.110)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.028)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	2	0.011	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(2)	(0.011)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	83	0.533	

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

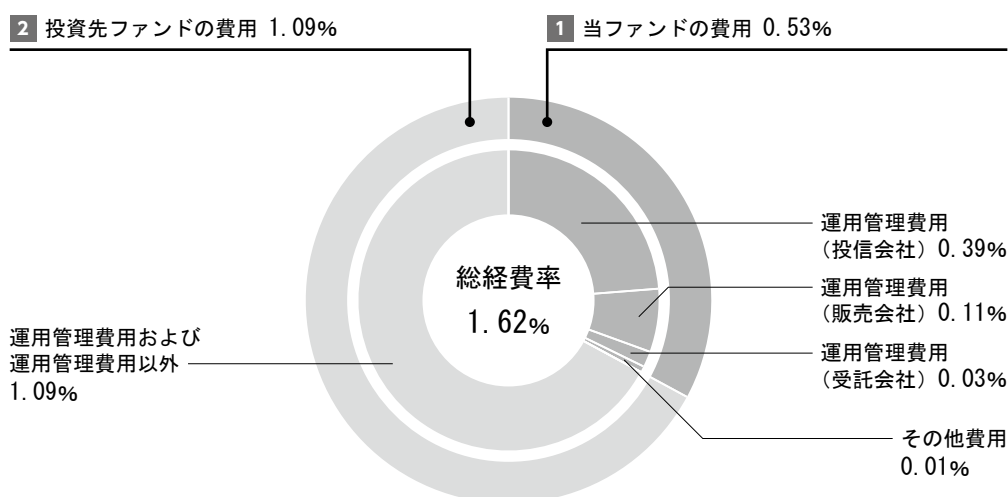
*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率（1+2）	1.62%
1 当ファンドの費用の比率	0.53%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.09%

*1の各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

*2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているクラスの費用が入手できないため、入手可能なファンド全体のデータをもとに平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

また、運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できないため、まとめて表示しています。

*1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

*上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.62%です。

売買及び取引の状況

(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

■投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	Columbia US Contrarian Fund Hedged Class	千口 445,435	千円 758,190	千口 188,978	千円 309,902

*金額は受渡し代金

利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2021年6月15日現在

■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
Columbia US Contrarian Fund Hedged Class	千口 827,997	千円 1,573,526	% 98.3
合 計	827,997	1,573,526	98.3

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マネジメント・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

＜補足情報＞

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、マネー・マネジメント・マザーファンド全体（27,440千口）の内容です。

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	2021年6月15日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	千円 17,000 (17,000)	千円 17,041 (17,041)	% 62.3 (62.3)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 62.3 (62.3)
合 計	17,000 (17,000)	17,041 (17,041)	62.3 (62.3)	— (—)	— (—)	— (—)	62.3 (62.3)

*（ ）内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	2021年6月15日現在				償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	評 価 額	
(特殊債券(除く金融債券))	%	千円	千円		
137 政保道路機構	1.2000	5,000	5,002		2021/06/30
11 政保政策投資C	1.0000	5,000	5,011		2021/09/14
145 政保道路機構	1.0000	2,000	2,005		2021/09/30
149 政保道路機構	1.0000	5,000	5,021		2021/11/30
合 計	—	17,000	17,041		—

投資信託財産の構成

2021年6月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,573,526	% 97.9
マ ネ ー ・ マ ネ ジ メ ン ト ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	9	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	33,252	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,606,788	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年6月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,606,788,963円
コール・ローン等	33,252,025
投資信託受益証券(評価額)	1,573,526,973
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,965
(B) 負 債	6,809,381
未 払 金	3,438,684
未 払 信 託 報 酬	3,258,311
そ の 他 未 払 費 用	112,386
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,599,979,582
元 本	879,291,518
次 期 繰 越 損 益 金	720,688,064
(D) 受 益 権 総 口 数	879,291,518口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	18,196円

*元本状況

期首元本額	603,479,764円
期中追加設定元本額	482,211,762円
期中一部解約元本額	206,400,008円

損益の状況

自2020年6月16日
至2021年6月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 13,833円
受 取 利 息	2,594
支 払 利 息	△ 16,427
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	309,091,069
売 買 益 損	351,333,475
売 買 損 益	△ 42,242,406
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,741,039
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	303,336,197
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	31,093,386
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	386,258,481
(配 当 等 相 当 額)	(126,832,850)
(売 買 損 益 相 当 額)	(259,425,631)
(G) 計 (D+E+F)	720,688,064
次 期 繰 越 損 益 金(G)	720,688,064
追 加 信 託 差 損 益 金	386,258,481
(配 当 等 相 当 額)	(126,832,850)
(売 買 損 益 相 当 額)	(259,425,631)
分 配 準 備 積 立 金	334,443,369
繰 越 損 益 金	△ 13,786

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	0円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	303,339,730
(C) 収 益 調 整 金	386,258,481
(D) 分 配 準 備 積 立 金	31,103,639
分 配 可 能 額(A+B+C+D)	720,701,850
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(8,196.39)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(0)

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

＜Bコース（ダイワ投資一任専用）＞

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年6月16日～2021年6月15日		
	金額	比率	
信託報酬	92円	0.523%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は17,646円です。
(投信会社)	(68)	(0.385)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(19)	(0.110)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.028)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	2	0.010	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(2)	(0.010)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	94	0.533	

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

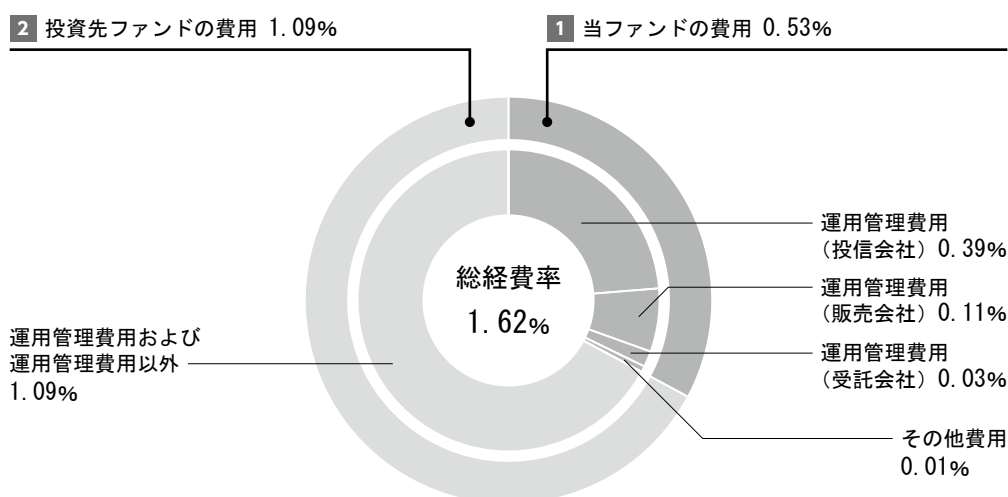
*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)	1.62%
1 当ファンドの費用の比率	0.53%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.09%

*1の各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

*2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているクラスの費用が入手できないため、入手可能なファンド全体のデータをもとに平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

また、運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できないため、まとめて表示しています。

*1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

*上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.62%です。

売買及び取引の状況

(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

■投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	Columbia US Contrarian Fund Unhedged Class	千口 235,467	千円 450,168	千口 121,967	千円 230,254

*金額は受渡し代金

利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2021年6月15日現在

■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
Columbia US Contrarian Fund Unhedged Class	千口 539,973	千円 1,203,439	% 98.5
合 計	539,973	1,203,439	98.5

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マネジメント・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

＜補足情報＞

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、9ページをご参照ください。

投資信託財産の構成

2021年6月15日現在

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,203,439	98.1
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	23,286	1.9
投資信託財産総額	1,226,735	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年6月15日) 現在

項目	当 期 末
(A) 資 産	1,226,735,868円
コール・ローン等	23,286,427
投資信託受益証券(評価額)	1,203,439,476
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,965
(B) 負 債	5,105,260
未 払 金	2,364,896
未 払 信 託 報 酬	2,649,354
そ の 他 未 払 費 用	91,010
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,221,630,608
元 本	572,735,813
次 期 繰 越 損 益 金	648,894,795
(D) 受 益 権 総 口 数	572,735,813口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	21,330円

*元本状況

期首元本額	451,719,466円
期中追加設定元本額	248,921,390円
期中一部解約元本額	127,905,043円

損益の状況

自2020年6月16日
至2021年6月15日

項目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 9,903円
受 取 利 息	1,912
支 払 利 息	△ 11,815
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	291,988,961
売 買 益	325,374,799
売 買 損	△ 33,385,838
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,650,496
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	287,328,562
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	20,796,398
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	340,769,835
(配 当 等 相 当 額)	(62,540,116)
(売 買 損 益 相 当 額)	(278,229,719)
(G) 計 (D+E+F)	648,894,795
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	648,894,795
追 加 信 託 差 損 益 金	340,769,835
(配 当 等 相 当 額)	(62,540,116)
(売 買 損 益 相 当 額)	(278,229,719)
分 配 準 備 積 立 金	308,134,816
繰 越 損 益 金	△ 9,856

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

＜分配金の計算過程＞

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	0円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	287,330,060
(C) 収 益 調 整 金	340,769,835
(D) 分 配 準 備 積 立 金	20,804,756
分 配 可 能 額 (A+B+C+D)	648,904,651
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(11,329.91)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(0)

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

参考情報

■投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	コロンビア・USコントラリアン・ファンド ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス Columbia US Contrarian Fund Hedged Class/Unhedged Class
基本的性格	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／円建て
運用目的	主に米国の金融商品取引所に上場する株式等に投資することで、中長期的な信託財産の成長を目指します（不動産投資信託証券やETF等に投資する場合があります。）。
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。
投資方針	<ol style="list-style-type: none"> 主として米国の株式等に投資することで、中長期的な信託財産の成長を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> 株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。 株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 ヘッジド・クラスでは、原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。アンヘッジド・クラスでは、原則として為替ヘッジは行いません。 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式等への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式等への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
申込手数料	ありません。
管理報酬 その他費用	<p>管理報酬等：年0.47%</p> <p>上記の他、信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、受託会社の費用、管理事務費用、名義書換事務代行費用、組入有価証券等の保管に関する費用、設立費用、弁護士費用、財務諸表の監査にかかる費用や信託財産の事務に関する費用等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>上記の報酬等は将来変更される場合があります。</p>
主な関係法人	<p>管理会社：ランタン・ストラクチャード・アセット・マネジメント・リミテッド</p> <p>投資顧問会社：コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー</p>

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のColumbia US Contrarian Fundの情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

財政状態計算書

	2020年9月30日現在 (単位：日本円)	2019年9月30日現在 (単位：日本円)
資産		
流動資産		
公正価値で測定する金融資産	4,120,193,204	5,190,134,208
現金及び現金同等物	327,334,985	510,662,045
未収入金(受益者)	28,169,327	28,821
未収入金(証券会社)	457,436	5,263,416
未取配当金	3,116,057	3,581,490
資産 計	4,479,271,009	5,709,669,980
負債		
流動負債		
公正価値で測定する金融負債	22,807,246	5,072,633
未払金(受益者)	31,354,319	12,630,546
未払金(証券会社)	10,481,968	5,801,022
未払費用	7,133,895	8,384,598
負債 計(受益者に帰属する純資産を除く)	71,777,428	31,888,799
受益者に帰属する純資産(設立費用調整前)	4,407,493,581	5,677,781,181
元本:		
受益者に帰属する純資産(設立費用調整後)	4,408,003,629	5,678,808,021
設立費用調整額	510,048	1,026,840

包括利益計算書 2020年9月30日に終了した年度

	2020年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)	2019年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)
収益		
受取配当金	78,065,614	121,342,750
受取利息	562,189	4,186,076
外国為替の損失	(9,922,278)	(20,047,649)
金融資産負債に係る公正価値の変動	(167,521,694)	(409,751,670)
損失 計	(98,816,169)	(304,270,493)
費用		
受託会社報酬及び管理会社費用	2,156,182	2,182,255
副管理会社費用	12,741,110	12,922,663
カストディーフィー	4,511,870	5,591,369
投資運用報酬	19,318,010	27,012,033
運用報酬	3,946,482	5,801,615
取引費用	2,076,392	2,935,378
スワップ関連費用	4,890,614	8,164,217
コラテラル・エージェント・フィー	513,196	510,701
その他費用	2,793,209	3,296,136
費用 計	52,947,065	68,416,367
営業損失	(151,763,234)	(372,686,860)
金融費用		
受益者への分配金	—	(3,021,224,458)
税引き前損失	(151,763,234)	(3,393,911,318)
源泉税	(20,942,719)	(32,371,019)
受益者に帰属する純資産の減少(設立費用調整前)	(172,705,953)	(3,426,282,337)
設立費用調整額	(516,792)	(1,686,996)
受益者に帰属する純資産の減少(設立費用調整後)	(173,222,745)	(3,427,969,333)

【組入上位銘柄】

銘柄名	業種名	比率
1 Apple Inc.	情報技術	6.6%
2 Microsoft Corporation	情報技術	5.8%
3 Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	5.2%
4 Berkshire Hathaway Inc. Class B	金融	3.3%
5 Comcast Corporation Class A	コミュニケーション・サービス	3.0%
6 Mastercard Incorporated Class A	情報技術	2.3%
7 Facebook, Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.2%
8 Johnson & Johnson	ヘルスケア	2.2%
9 Medtronic Plc	ヘルスケア	2.2%
10 Lowe's Companies, Inc.	一般消費財・サービス	2.1%

(組入銘柄数 77銘柄)

※ 組入上位銘柄はコロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーから提供された2020年9月末基準のデータに基づき作成しております。

※ Columbia US Contrarian Fundの組入株式等の時価評価額合計に対する比率です。

※ 業種名は世界産業分類基準(GICS)です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2020年7月27日

(第7期：2019年7月26日～2020年7月27日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資は行いません。・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率		
第3期 (2016年7月25日)	円 10,011		% 0.0	% 69.6	百万円 59
第4期 (2017年7月25日)	10,000		△0.1	79.3	49
第5期 (2018年7月25日)	9,995		△0.1	83.5	49
第6期 (2019年7月25日)	9,988		△0.1	86.0	37
第7期 (2020年7月27日)	9,979		△0.1	88.0	27

*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率
		騰	落 率	
(期 首) 2019年7月25日	円 9,988		% -	% 86.0
7月末	9,988		0.0	75.3
8月末	9,989		0.0	75.4
9月末	9,989		0.0	81.7
10月末	9,985		△0.0	58.3
11月末	9,984		△0.0	59.5
12月末	9,983		△0.1	76.0
2020年1月末	9,983		△0.1	76.0
2月末	9,984		△0.0	61.0
3月末	9,980		△0.1	72.8
4月末	9,981		△0.1	72.8
5月末	9,980		△0.1	59.4
6月末	9,980		△0.1	64.9
(期 末) 2020年7月27日	9,979		△0.1	88.0

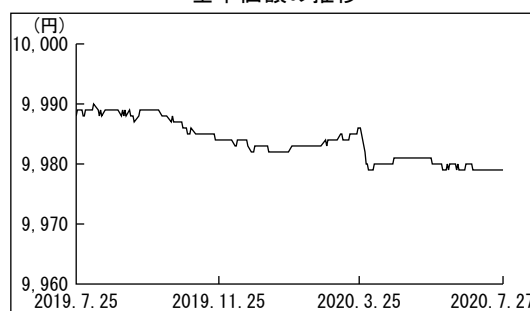
*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：9,988円
 期末：9,979円
 騰落率：△0.1%

基準価額の推移



【基準価額の変動要因】

(下落要因)

日本銀行のマイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化などが要因となりました。

【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.13%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2019年10月以降、海外投資家の短期の国債への需要の高まりを受けて、一時-0.4%近辺まで低下した後、-0.10%~-0.20%の狭いレンジで推移しました。2020年2月末以降は、年度越え要因に絡む海外投資家の短期の国債への需要の高まりや年度末を控えた担保需要の高まり等を受けて、-0.45%近辺まで低下しました。その後、期末にかけてマイナス幅を大きく縮小し、-0.09%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

新型コロナウイルス感染症への懸念拡大に伴う金融情勢を踏まえて、日本銀行は2020年4月の金融政策決定会合において金融緩和の強化を行ったものの、政策金利引き下げは見送りました。しかし世界の主要中央銀行は相次いで緊急利下げや量的緩和政策の導入に踏み切ったことや、日本銀行も国債のさらなる積極的な買い入れを明示したことから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年7月26日~2020年7月27日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は9,984円です。			

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 * 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 * 円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

■ 公社債

			買付額	売付額
国	内	特殊債券	千円	千円
			34,246	— (42,000)

* 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれていません。)
 * ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

■ 公社債

買	当		期			
	付	額	売	付		
銘	柄	金	銘	柄	金	額
		千円			千円	
135	政保道路機構	7,079	—		—	
115	政保道路機構	7,032				
122	政保道路機構	5,045				
107	政保道路機構	5,034				
18	政保地方公共団	5,032				
110	政保道路機構	5,020				

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2020年7月27日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債 券)	千円 24,000 (24,000)	千円 24,102 (24,102)	% 88.0 (88.0)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 88.0 (88.0)
合 計	24,000 (24,000)	24,102 (24,102)	88.0 (88.0)	— (—)	— (—)	— (—)	88.0 (88.0)

* () 内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘	柄	当 期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
(特殊債券（除く金融債券）)					
115	政保道路機構	1.0000	7,000	7,006	2020/08/31
18	政保地方公共団	0.9000	5,000	5,013	2020/11/17
122	政保道路機構	0.9000	5,000	5,015	2020/11/30
135	政保道路機構	1.1000	7,000	7,066	2021/05/31
合	計	—	24,000	24,102	—

投資信託財産の構成

2020年7月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	24,102	88.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,273	12.0
投 資 信 託 財 産 総 額	27,376	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年7月27日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,376,279円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,226,508
公 社 債(評価額)	24,102,892
未 収 利 息	46,879
(B) 純 資 産 総 額(A)	27,376,279
元 本	27,434,637
次 期 繰 越 損 益 金	△ 58,358
(C) 受 益 権 総 口 数	27,434,637口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(B/C)	9,979円

*元本状況

期首元本額	37,373,870円
期中追加設定元本額	5,211,802円
期中一部解約元本額	15,151,035円

*元本の内訳

タフ・アメリカ (マナープールファンド)	7,907,007円
米国小型株ツインα (毎月分配型)	552,681円
米国小型株ツインα (資産成長型)	71,698円
日本株アルファ・カルテット (毎月分配型)	1,998,801円
米国リバーサル戦略ツインαネオ (毎月分配型)	16,364,935円
米国リート厳選ファンド (毎月決算型)	249,776円
米国リート厳選ファンド (資産成長型)	249,776円
NBマルチ戦略ファンド	9,989円
日本株アルファ・カルテット (年2回決算型)	9,990円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース (ダイワ投資一任専用)	9,992円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース (ダイワ投資一任専用)	9,992円

*元本の欠損

58,358円

損益の状況

自2019年7月26日
至2020年7月27日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	225,302円
受 取 利 息	232,272
支 払 利 息	△ 6,970
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△260,308
売 買 損 益	△260,308
(C) そ の 他 費 用	△ 135
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 35,141
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 43,278
(F) 解 約 差 損 益 金	28,145
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,084
(H) 計 (D+E+F+G)	△ 58,358
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 58,358

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。